ネットの可能性を探る

〝商品価値の伝え方〟など学習

八商工で「楽天ＩＴ学校」

宿泊プランを企画販売する初の試みも

高校生にインターネットの可能性やビジネスの楽しさ、厳しさを伝える楽天㈱＝本社・東京都世田谷区＝の「楽天ＩＴ学校」が24日から、八重山商工高校（真栄田義功校長、生徒385人）で行われ、商業科情報ビジネスコースの3年生27人がネットショッピングの仕組みや商品価値の伝え方などを学んでいる。生徒たちは来年2月まで、マーケティングや商品の作り方なども学び、最終的には市内ホテルの宿泊プランを企画してウェブ上で販売する。同校で初めての取り組み。

南の美ら花ホテルミヤヒラが協力。生徒たちは六つのグループに分かれ、旅行予約サイト「楽天トラベル」のウェブページ内にある同ホテルの宿泊プランを考えている。

来年1月には各校の代表1チームが楽天市場出店者と楽天トラベル登録施設の前で、授業の成果を発表する「楽天ＩＴ学校甲子園」が同社で開催されることになっているという。

講師を務めた同社ＥＣマーケットプレイス開発部の川上真由子さんは商品に関する情報について▽Ｆｅａｔｕｒｅ（形状・仕様）▽Ａｄｖａｎｔａｇｅ（優れた点）▽Ｂｅｎｅｆｉｔ（お客さんが手にするハッピー）―の三つを挙げ、「全て必要。一つでも欠けたらお客さまの心には響かない」と強調。

生徒たちは1万3000円のハンガーについて三つの情報を模造紙に書き、発表するグループワークも行った。

嘉銘峰基君（17）は「ネットショッピングでは商品が上手して出されていることが分かった。今からしっかり調べて魅力的なプランを作り、楽天ＩＴ学校甲子園に出場したい」。杉本優美さん（同）は「お客さまの立場で考えるところが勉強になった。みんなの意見を聞き、自分の意見も出しながら面白いプランにできればと思う」とそれぞれ意欲を語った。

情報ビジネスコース紹介

←楽天 IT 学校 in 八重山商工

２０１６．５．２４

ネットを使った新しいビジネス

楽天 IT 学校で ネット社会の商品開発を学ぶ

情報ビジネスコースでは、平成２８年度から楽天の協力を得て「楽天 IT 学校」をスタートしました。

楽天と地元宿泊施設（南の美ら花 ホテルミヤヒラ）と連携して、楽天トラベルの Web ページ内にあるホテルの宿泊プランを生徒が企画・販売し、インターネットを通した商取引について実践的な学習を行うものです。グループワークを通してコミュニケーション能力、発表を通してプレゼンテーション能力を養います。

その中でも優秀なグループは、東京で開催される「楽天 IT 甲子園」に派遣します。

情報ビジネスコースとは

コンピュータを使って何をするのか

ビジネスに必要な書類の作成方法や、グラフィックや動画の制作、Web ページの作成等を学び、将来の IT 社会で活躍できる人材を育てます。また、各種検定取得にも入れています。

主な検定取得

情報処理検定、ビジネス文書検定、簿記検定、IT パスポートなど